

昔々の そお市

むかしむかし

郷土を知る

社会教育課 文化財係 ☎ 099-482-5958

第2回

平景清の伝説



平

景清は、平安末期の武士で、平家に仕え源氏と戦った勇猛な人物です。通説では平家は壇ノ浦の戦いで滅び、捕えられた景清は絶食して果てたといひます。

一方、異説として、源頼朝は景清を重用しようとしたがそれを固辞。代わりに西国下向を願い出て許されたといひます。このことから全国各地に伝説が流布し、その中の一つに宮崎入りした景清は柳井谷の地に来て没したといひます。また、源氏の栄える世を見たくないといひ、このころから生目信仰も生まれていひます。

現在、大隅町柳井谷の山中に石塔群（市指定文化財）があり、この中で一番大きな墓が平景清の墓と言われていひます。

昔の人々はこの墓を景清のものと広く信じ、目の病に効くとして、石を削り粉にして服用しました。実際、水輪には削られた跡が多数残っており、生目信仰を伝えるものとして価値のある石塔です。

ところが実際には、この墓は景清

ではなく、室町時代初期の岩川氏のものと考えられていひます。

岩川氏は中之内の桂に手取城を築いてこの一帯を領した一族です。しかし、島津氏久に攻められ、種子島・屋久島へと逃れ、この地から姿を消しました。柳井谷石塔群は、往時の岩川氏を偲ばせるものといひます。

柳井谷に平景清の伝説がいつ頃から根付いたのか不明ですが、岩川氏は平姓であり、源姓である島津氏に敗れたことに重ね合わせて、地元の人々の間から生まれてきたものなのかもしれません。



曾於市HP内
「平景清」で検索



他にもある景清伝説

- ◎ 山之口城跡（都城市）景清の築城という
- ◎ 景清廟（宮崎市）景清三代の墓あり
- ◎ 生目神社（宮崎市）
祭神は景清。眼病治癒の霊地
- ◎ 景清息女の墓（球磨郡あさぎり町）
大隅町柳井谷の紹介もあり
- ◎ 寅御前の墓（球磨郡あさぎり町）
景清の母とされる

